

(別紙4(2))

事業所名 まつもとデイ・グループホーム長沼

## 目標達成計画

作成日: 令和4年 3 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている。	職員に理念の位置づけを行っていく。	職員会議を行い、理念の共有し、介護計画・アセスメントに生かせるようにする。	6ヶ月
2	6	代表者及びすべての職員が(介指定基準における禁止の対象となる具体的行為)を正しく理解しており玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	すべての職員が身体拘束ケアを正しく理解する。	研修記録・会議の議事録などの書類について見直しを図り、適切に作成していく。新入社員には、施設案内時に身体拘束についてのマニュアルなどを指導しそのことを書面に残す。	6ヶ月
3	26	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人家族、必要な関係者と話し合いそれぞれの意見やアイデアを反映し現状に即した介護計画を作成している。	担当職員だけではなく、全職員が介護計画に携わるようにする。	職員会議を行い、全職員に介護計画の内容がいきわたり、問題点や、課題について意見交換できる場を作る。課題を生かした、介護記録を書面で残す。	6ヶ月
4	4	運営推進会議では利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行いそこの意見をサービス向上に活かしている	年6回の開催	定期的な開催を行い参加者に対し議事録を送付し、事業所の取り組みを理解してもらうようにする。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。